

全体テーマ：『観光とまちづくり～萌芽と将来展望～』

今回テーマ：世界遺産・宮島にみる“観光とまちづくり”の取組みと展望

■開催主旨

わが国の観光をとりまく状況は「さらに増え続ける外国人観光客数」「体験型観光への転換」「東アジア諸国を中心としたリピーター客の増加」など、新たな動向が認められる。

今後、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、ますます外国人観光客の増加が見込まれ、観光産業の増進がますます想定される場所である。

一方、わが国は人口減少・少子高齢化時代に突入し、人口減少や地域活力の低下が地方都市の条件不利地域を中心に、深刻な課題となっている。

本研究会では、体験型観光への転換や、観光による交流人口の確保など、中国四国地方における新たな観光まちづくりの取組みを事例として考察し、今後のまちづくり面での期待、将来展望等について考えていく。

“観光とまちづくり”に関して理解を深めることを目的に、今回は「世界遺産・宮島」を事例として、観光まちづくりの最近の取組み、地域が抱える観光まちづくりの課題をテーマとして都市計画研究会を開催する。

■日時

2018年1月27日（土） 15:00～17:00

■会場

広島経済大学 セミナーハウス成風館
（廿日市市宮島町1175番地）

■プログラム

開 会	15:00	
講演・報告1	15:05～15:25	「統計データからみる宮島の現状」 講師：伊藤 雅 氏（広島工業大学工学部 教授）
講演・報告2	15:25～15:55	「宮島の観光業の最近の動き」 講師：菊川 照正 氏（ゲストハウス菊がわ代表）
講演・報告3	15:55～16:40	「宮島の抱える問題点と将来展望 ～『宮島の明日を語る会』における島民の声から～」 講師：北野 尚人 氏（広島経済大学経済学部 教授）
意見交換	16:40～16:55	
閉 会	17:00	

参加申込先

（広島工業大学内 担当：伊藤 雅）
電話：082-921-5474 FAX：082-921-8976
E-mail：t.itoh.sn@cc.it-hiroshima.ac.jp

参加希望の方は、1月24日（水）までに、ご氏名、所属を上記アドレスまでご連絡ください。
研究会終了後、講師を交えた懇親会を企画しておりますので、こちらの参加希望も併せてお知らせください。
（会場：宮島ブルワリー、会費：5,000円程度）

一般の方のご参加、定員内であれば当日のご参加も可能です。

主催：公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部（<http://cpij-chushikoku.jp/>）